

授業概要

教育心理学の基本的な考えを学び、日常生活との関わりについて考えていく。
教育心理学の3領域、すなわち、教授・学習、人格・社会・適応、評価・測定の観点から講義を行う。
さらに、日常の学習場面について、教育心理学の視点から問題をいかに分析し、いかに解決を図っていくかについて考察する。

授業計画

第1回	「ガイダンス」 教育心理学とは
第2回	「記憶」 記憶のメカニズム
第3回	「知識」 知識と問題解決
第4回	「学習理論①」 学習理論
第5回	「学習理論②」 授業での応用
第6回	「学習方略」 メタ認知と学習方略
第7回	「教育評価①」 評価の分類
第8回	「教育評価②」 パフォーマンス評価
第9回	「教育評価③」 テストの分析
第10回	「学習と動機付け①」 条件付け
第11回	「学習と動機付け②」 動機づけの諸理論
第12回	「学習と動機付け③」 動機づけの諸理論
第13回	「学習と動機付け④」 理論と実践
第14回	「認知特性と個性」 特性と学習環境づくり
第15回	まとめと振り返り
第16回	筆記試験

到達目標

- ・発達や学習に関する理論や特徴を理解し、自らの学習に応用することができる。
- ・発達や学習に関する理論と自らの経験や知識を関連させ、新たな問いや考え、解決策を生み出すことができる。

履修上の注意

受講する皆さん自身の経験や学習したことを結び付けて理解を深めたり、積極的に授業内での活動に参加したりする事を期待します。

予習・復習

- 予習：教科書の該当箇所を読んでおくこと。
- 復習：授業内で、毎回内容に関連する「問い」を出す。問いに対する答えを考えておくこと（問いに対する答えについては、授業内でフィードバックを行う）

評価方法

- 学期末の試験を基本に、講義時間中の小テストや小レポートを参照して総合的に評価する。
- ・平常点評価（授業内で課した課題等） 40%
 - ・テスト 60%

テキスト

- ・教科書名：やさしい教育心理学（第5版）
- ・著者名：鎌原 雅彦・竹網 誠一郎
- ・出版社名：有斐閣
- ・出版年（ISBN）：2019年（978-4-641-22146-8）